

自動火災報知設備模型盤を活用した研修

埼玉県南西部消防局

埼玉県南西部消防局では、令和4年3月17日（木）、職員を対象に自動火災報知設備模型盤を活用した研修を実施しました。

この模型盤は、不要となった自動火災報知設備を再利用して製作したもので、研修では、非火災時の処置や火災試験の操作などを行いました。

受講者からは、「実際に操作できるので、分かりやすい。」といった声がありました。今後も引き続き、職員の知識・技能向上に努めてまいります。



外国人市民に消防協力者感謝状を贈呈

豊橋市消防本部

豊橋市消防本部は、1月22日（土）に消防協力者に対し消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、1月5日（水）深夜、外国人が多数入居する公営団地で発生した火災に対し、いち早く気づいた外国籍の家族6名が連携して通報、日本語を含めた多言語で避難を呼びかけ、上階に住む高齢の避難困難者夫婦を救出して被害を最小限に抑えたものです。

当地域では、多言語での防火防災訓練を定期的に行っていることから、日頃の取り組みが実を結び、協力者の勇敢な活動へとつながりました。



消防通信

望楼

ぼうろう

土砂災害発生に備えて

東大阪市消防局

令和4年1月16日、東大阪市消防局は土砂災害の発生に備えるため、各防災関係機関の連携協力等を確認する災害対応訓練に参加しました。

訓練は、管内の生駒山中で土砂災害が発生しハイカーが土砂に巻き込まれたという想定で行われました。市関係部局のほか大阪府や大阪府警、大阪市消防局航空隊などと連携するとともに、民間の協力会社によるドローンで撮影した映像を指揮本部に転送するなど、現場状況の早期把握と活動の役割分担を確認し、土砂災害に対応する実働強化を図りました。



大学生とともに『救急車適正利用PR動画』を制作！！

尼崎市消防局

尼崎市消防局は、大手前大学「建築&芸術学部 映像・アニメーション専攻」の学生とともに「救急車適正利用PR動画」を制作しました。在学中の集大成となる「卒業制作」として企画のプレゼン、絵コンテ、試作映像確認といった各工程で双方向の調整を図りながら制作、3DCGを駆使するなど専門性の高さとともに、学生のアイデア、演技がたくさん詰まった動画（6作品）が完成、当市の公式YouTubeチャンネルにて公開しています。

※ 尼崎市公式YouTubeチャンネルURL:[尼崎市公式チャンネル - YouTube](#)

